

テーマ 「読書で涼む」

連日の厳しい暑さに、心身ともに疲れを感じる季節となりました。今回はページをめくるだけで、ひとときの涼を届けてくれるような本をご紹介します。冷房の効いた図書館やご自宅で、心までひんやり潤う読書タイムを過ごしてみませんか。

『ペンギン・ハイウェイ』

森見登美彦 著
(角川書店)

海のない街に突如現れたペンギンの謎を追う、小学生のアオヤマ君たちによるひと夏の冒険物語。青い空が目に見え、青い空が目に浮かぶような夏の描写が美しく、この季節に読みたい一冊です。



『日本の美しい水族館』

銀鏡つかさ 写真・文
(エクスナレッジ)

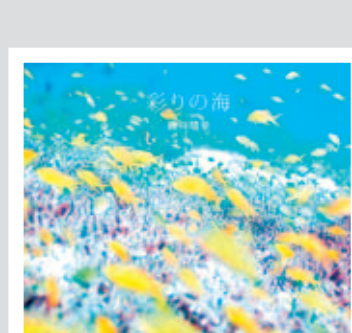
全国各地の水族館の魅力を幻想的な写真とともに紹介。水槽から差し込む光の筋や、優雅に泳ぐ魚たちの姿は、暑さを忘れさせてくれる癒やしと清涼感を与えてくれます。



『彩りの海』

鍵井靖章 著
(パイインターナショナル)

世界中の海で出会った、色鮮やかな生き物やサンゴの風景を収めた写真集。透明感あふれる青の世界を眺めていると、まるで海中を散歩しているような涼しさを味わえます。



読書にまつわる〇〇〇



「何のための読書なのか」

4月から一次計画を引き継ぐ形で始まった「第二次土岐市読書活動推進計画」の中で、策定委員会委員長のアンドリュウ・デュアー氏（東海学院大学教授）が「何のための読書なのか」を解説してくださいました。抜粋して紹介します。

本を読むと、何かいいことがありますか？

読むことはためになる、とよく言われますが、本当にそうなんですか？

読書の恵みというのは実に多様です。

いくつかの例を挙げれば、

①子どもの語彙が大幅に増える。

②言葉と読解力が発達する。

③学力が高まる。

④想像力と集中力が鍛えられる。

⑤性格が人の気持ちを考えるように形成される。

⑥感情や感性が発達する。

⑦社会性が発達する。

⑧人の気持ちが読める共感性が成熟する。

⑨文脈理解力が鍛えられる。

⑩経験の拡張ができる。

⑪悩みを解消する力が身につく。

⑫進路のヒントが得られる。

⑬親などの絆が深まる。

⑭時間を楽しむようになる。

市ホームページ（HP1002110）に全文を掲載しています。ぜひご覧ください。

図書館 ☎55-1253

8月の休館日

3日、10日、17日、24日、31日の月曜日、28日(金)
※変更があった場合は、図書館HPやX(旧Twitter)でお知らせします。

開館時間

▶火～金曜日

10:00～19:00

▶土・日曜日、祝日

10:00～17:00

移動図書館 8月のスケジュール

▷曾木・鶴里公民館 6日(木)、20日(木)、22日(土)

▷濃南こども園 6日(木)、20日(木)

▷妻木公民館・旭ヶ丘第一町民館 13日(木)、27日(木)

▷駄知公民館 13日(木)、22日(土)、27日(木)

▷肥田・泉西公民館・教育支援センター

7日(金)、21日(金)

▷ウエルフェア土岐 7日(金)、21日(金)



HP1009204